

## ■平成 30 年 9 月

平成 30 年 9 月 1 日～30 日の間、28 名の連邦議会関係者、1 名の米政府関係者と面会いたしました。主な面会先及び内容は、以下のとおりです。

### (1) 上院軍事委員会公聴会の情報収集 (25 日)

在韓米軍司令官に指名されているロバート B. エイブラムス氏他に係る上院軍事委員会の指名公聴会の情報収集を行いました。米韓軍事演習等に係る質疑がありました。

### (2) エレンライク前在沖縄米国総領事への表敬訪問 (7 日)

前在沖縄米国総領事で現在国防総省で海兵隊総司令官国際政策顧問を務めるエレンライク氏を表敬訪問しました。今後も引き続き意見交換することとなりました。

### (3) 上院議員及び下院議員の居室訪問 (5 日～7 日)

沖縄の状況に関する資料の配布及び説明のために、これまで知事と面談した上院議員及び下院議員の居室を訪問しました。担当補佐官との面談に繋げていく予定です。

### (4) 連邦議会調査局との面談 (5 日)

沖縄県が埋立承認を撤回したこと等、沖縄の最新状況について情報提供するため、連邦議会調査局の担当専門官を訪問し、併せて意見交換を行いました。

## ■平成 30 年 8 月

平成 30 年 8 月 1 日～31 日の間、3 名の有識者等と面会いたしました。主な面会先及び内容は、以下のとおりです。

### (1) ジョン・マケイン上院議員の追悼 (31 日)

8 月 25 日に死去したジョン・マケイン上院議員の一般参加者向けの追悼の場に参加しました。8 月 27 日には、お悔やみの手紙を、ワシントン事務所長からマケイン上院議員のトルーマン・アンダーソン首席補佐官に送付しています。

### (2) 野添文彰氏との面談 (23 日)

3 月に DC で開催した県主催シンポジウムにパネリストとして参加した沖縄国際大学の野添文彬氏の米国出張に合わせ、シンポジウムでの議論内容等、意見交換会を行いました。

### (3) デビッド・シアー前国防次官補との面談（9日）

前国防次官補のデビッド・シアー氏と面談し、翁長知事の強い意思でワシントン事務所が設置されたこと、日米安全保障体制を支持する県の姿勢、普天間の辺野古移設を見直す必要性及びそれが沖縄県民のみならず日米のメリットにも資すること、軟弱地盤や活断層の可能性があり工事には困難が伴うこと、米にとって何が利益か考えて欲しい旨等を伝えました。

## ■平成 30 年 7 月

平成 30 年 7 月 1 日～31 日の間、3 名の連邦議会関係者、5 名の有識者等と面会いたしました。主な面会先及び内容は、以下のとおりです。

### (1) ジェームズ・インホフ上院議員補佐官との面談（27日）

ジェームズ・インホフ上院議員の補佐官と面談し、冒頭に当方から訪問趣旨等を説明し、意見交換に移りました。7月27日、翁長知事が、承認の撤回に向けて聴聞の手続きに入るよう関係部局長に指示したことを発表したことも伝えました。インホフ議員居室には、過去にも面談実績があることから、今回面談した補佐官は、沖縄の状況を一定程度把握しており、今後も継続的な接触を行う予定です。

### (2) 新外交イニシアティブ事務局長等との面談（24日）

新外交イニシアティブ事務局長等と面談し、沖縄の状況等について意見交換を行いました。

### (3) 日本大使館参事官との面談（24日）

日本大使館参事官と面談し、在沖米軍の事故発生時等の地元への対応のあり方等、沖縄の状況について意見交換しました。

### (4) 上院歳出委員会小委員会所属補佐官との面談（20日）

上院歳出委員会の小委員会補佐官と面談しました。国防小委員会は、国防総省全般の予算拠出を所管しており（防衛装備品調達、研究開発費、人件費、戦費、訓練、教育等の運用費）、軍事建設小委員会は、軍事施設の建設・整備予算の拠出等を所管しています。

冒頭に当方から訪問趣旨等を説明し、GAO 報告書の指摘、軟弱地盤の可能性にも触れ、意見交換を行いました。

**(5) 東西センターとの面談（18日）**

東西センター・ワシントン DC でのシンポジウムに出席するため DC を訪問している東西センター特別上級研究員等がワシントン事務所を訪問しました。ワシントン駐在の役割、活動内容等について説明し、辺野古の新基地建設の問題、日米地位協定の問題点、米軍基地に対する各世代の県民感情等について意見交換しました。